



特定非営利活動法人 Arts Planet Plan from IGA

アトリエニュース

〒518-0205 三重県伊賀市伊勢路字青山1381-77 Tel(186-)0595-53-1077



[2015. 12. 19 発行 編集担当:石津 勝]

師走に入り、寒さが一段と厳しくなりました。、皆様、風邪など引かれてないですか？。
今号では、9月に行われた`15 風と土のふれあい芸術祭 in 伊賀、11月の研修旅行などの報告を中心にお届けします。

‘15 風と土のふれあい芸術祭 in 伊賀 が終わりました！

‘15 風と土のふれあい芸術祭 in 伊賀は、現代木版画家の松谷博子さんを滞在制作公開作家にお迎えして、8月9日(日)~9月18日(金)までの間に実施された Artist in Residence、そして今回から初めて設けたジュニア部門を含む風と土のかたち展、9月21日(日)、22(月祝)の2日間に亘って催した風と土のアート・フェアの3部門構成で開催しました。地元の皆様方から温かい歓迎を受け、また積極的に自ら交流する姿勢を前向きに示して頂いた松谷さんの A. I. R. 向きの個性も相まって心温まる滞在制作が実現しました。狙いとしている制作と交流の両立が見事に実った今回の A. I. R. に、松谷さん並びに地元地域の皆様方に感謝の念を心より表したいです。下絵無しで自らの感性の赴くまま彫刻刀が繰り出す緻密な木版作品の世界に鑑賞者は驚きを禁じ得なかったのではないかと思います。

また初めて風と土のかたち展に設けたジュニア部門には名張の絵画教室に通う児童生徒や自宅で描きあげた作品を出品してくださいました子ども達の絵画は大人の作品に負けない勢いや情熱が迸る作品でした。今後も、より多くの児童生徒達の参加を期待したいです。2日間の開催とした今回の風と土のアート・フェアは出展者が昨年までの2倍以上になり、天候にも恵まれ盛況でした。造形ワークショップ、音楽イベント等の開催、クラフト作品、地元産の農産品・加工品、食品の販売など多岐に渡り、伊賀の中山間部でも、クオリティの高いホンマモンを体験し味わうことが出来たのではないかと思います。期間中を通じた来場者も過去最高を記録しました。これらはすべて参加・出展してくださいました方々及び来場者の皆様のお陰であると思えます。ありがとうございました。ただ、このように面白く楽しい遣り甲斐のあるアートフェスティバルの運営は、実行委員会と言っても実務を熟す事務局員の数は慢性的に枯渇しており、新たな協力者の参加を心から待望しています。来てね!!!

(実行委員長 森田 耕太郎)



△松谷さん作品

今年の「風と土のかたち展」は、レジデンス作家の作品を始め、グラウンドの中央には子ども達が描いたフラッグの塔、校舎裏の川には鈴が鳴るインスタレーションなど、昨年同様に参加型の作品が出品されました。教室、和室、美術室、音楽室も使用して、合計で、出品者71名(組)、作品数100余点の大規模な展覧会を今年も継続して開催することができました。新たな取り組みとしては、ジュニア部門の併設展示を行ない、13名の参加がありました。今後増えることが期待されます。アートフェアと合同での交流会なども、美味しいものを頂きながら愉しく過ごせました。来年もまた、自然がいっぱいの矢持に集まりましょう!

(風と土のかたち展担当:石津 勝)

風と土のアートフェア、2日間にわたり、お天気にも恵まれ、大きなトラブルもなく地元の方のご協力もあり、大成功でした。交流会や地元以外の方々のご参加、ご協力にも助けられ、満足感のある結果だったように思えます。NABARI STATIONの現地生中継から始まった1日目、体育館内のワークショップ、数々の個性豊かな作品販売、運動場での食品販売や地産地消の販売等、ミニコンサートやインスタレーション書のライブペイント等大きく盛り上がりしました。2日目も恒例のふるまい餅や今回初参加の絵本ライブもあり2日間、参加者たちの楽しそうな笑顔で包まれていました。来年も地元の皆様、参加者の皆様のご協力の元、このイベントを元気に成功させるように一丸となって創り上げていきましょう!お疲れ様でした。ありがとうございます。

(風と土のアートフェア担当 村瀬 浩)



お知らせ

来年3月に予定していましたが「第8回 穴窯焼成」は、粘土カフェメンバーでの話し合いの結果、延期することになりました。ご了承ください。詳しい日程は、後日、お知らせいたします。(担当 田上 早百合)

研修旅行「鳥取 倉吉白壁土蔵群と三朝温泉 2015の旅」の報告



11月14日(土)～15日(日)の日程で鳥取県倉吉方面へ、8名の参加で行きました。倉吉市にある白壁土蔵群では古くからある土蔵を利用した街並みを眺めながら、その土地ながらの絣といった工芸品を鑑賞したり地域の美術館へ足を運びました。三朝バイオリン博物館ではバイオリンの制作工房を見学しながら美術に共通する楽器作りの面白さを生で感じることができました。

夜は850年の歴史を誇る三朝温泉街に宿泊し、色々な方法で調理された蟹を美味しくいただきました。今までの研修旅行で一番豪華な食事だという感想も参加者からありました。

参加された皆様ありがとうございました。あいにくのお天気でしたが、それを吹き飛ばしてしまうくらいの楽しい旅となりました。

(担当：芝田 真美)

写真上段：参加者の皆様とバイオリン博物館にて 下段：白壁土蔵群

第2回実技講習会「書道/刻字」の報告

第2回実技講習会「書道/刻字」は、10月17日(土)に書家の美濃幸男氏を講師に迎え、会員6名、一般2名の合計8名で開催しました。刻字は陽刻と陰刻がある中、今回は陰刻の技法を使っての制作を指導して頂きました。予め参加者が考えてきた文字を美濃先生のアドバイスを受けながら刻字に向く書体にアレンジ。そしてその下書きの書をトレーシングパーパーを使って版木に転写。今回はマホガニー材を使用です。その後、鑿(のみ)、木槌やソフトハンマーを使って彫り進めます。今回は文字の片側だけを深く彫る方法で初心者にも何とか彫り上げることができました。最後に仕上げと展示の方法を教えて頂き、最終の完成は各自の自宅となりまして。講師の美濃先生はじめ、ご参加頂きました皆様、お疲れ様でした。

(担当：森田 耕太郎)



自主活動「グリーンウッドワーク体験会」の報告



以前より開催を模索していましたが、8月9日(日)「NPO 法人グリーンウッドワーク協会」で普及活動をされている代表の小野敦氏を講師にお招きし、矢持地区市民センターを会場に11名の参加で行うことができました。

道具の組み立てから、生木を割って材料をつくる、削り馬や足踏み木工ろくろ等を使っての刃物での加工、ほとんど初めての体験に参加者全員興味津々です。中でも、生木がさくさく、またシュルシュル削れる様には全員が熱中、グリーンウッドワークの楽しさを満喫しました。

(担当：森田 佳子)

事務局からのお願い

- 本法人は、皆様方からご納入頂きました会費で運営されております。常々、ご協力有難うございます。未納の方は、早目の納入にご協力をお願い致します。

ゆうちょ口座 記号番号：00890-1-106346 NPOアーツ プラネット プラン フローム イガ

「ゆうちょ銀行」で直接お振り込みいただく場合には、すでに送付済みの払込取扱票をご使用いただくか、上記の口座にお振り込みをお願いします。

また、「ゆうちょ銀行」へ他の金融機関より振り込みができるようになりましたので、その場合は、下記の口座にお振り込みください。よろしく申し上げます。

ゆうちょ銀行 金融機関コード 9900 店番 089 店名 O八九店(ゼロハチキユウ店)
当座 0106346 アーツプラネットプランフロームイガ